



NS Solutions

2007年9月中間期 決算説明会

2007. 10. 25

代表取締役社長 北川 三雄

新日鉄ソリューションズ株式会社

2007年9月中間期 連結決算ハイライト

(億円)

	2006/9期 (実績) A	2007/9期 (実績) B	対前年同期 差異 B-A	2007/9期 (前回公表値) C	対公表値 差異 B-C
売上高	701	760	+ 59	750	+ 10
業務ソリューション	394	447	+ 53	420	+ 27
基盤ソリューション	121	102	- 19	130	- 28
ビジネスサービス	186	211	+ 25	200	+ 11
売上総利益	145	165	+ 20	158	+ 7
<売上総利益率>	<20.8%>	<21.8%>	<+ 1.0%>	<21.1%>	<+ 0.7%>
販管費	-94	-102	- 8	-100	- 2
営業利益	51	63	+ 12	58	+ 5
経常利益	52	65	+ 13	60	+ 5
当期純利益	30	35	+ 5	31	+ 4

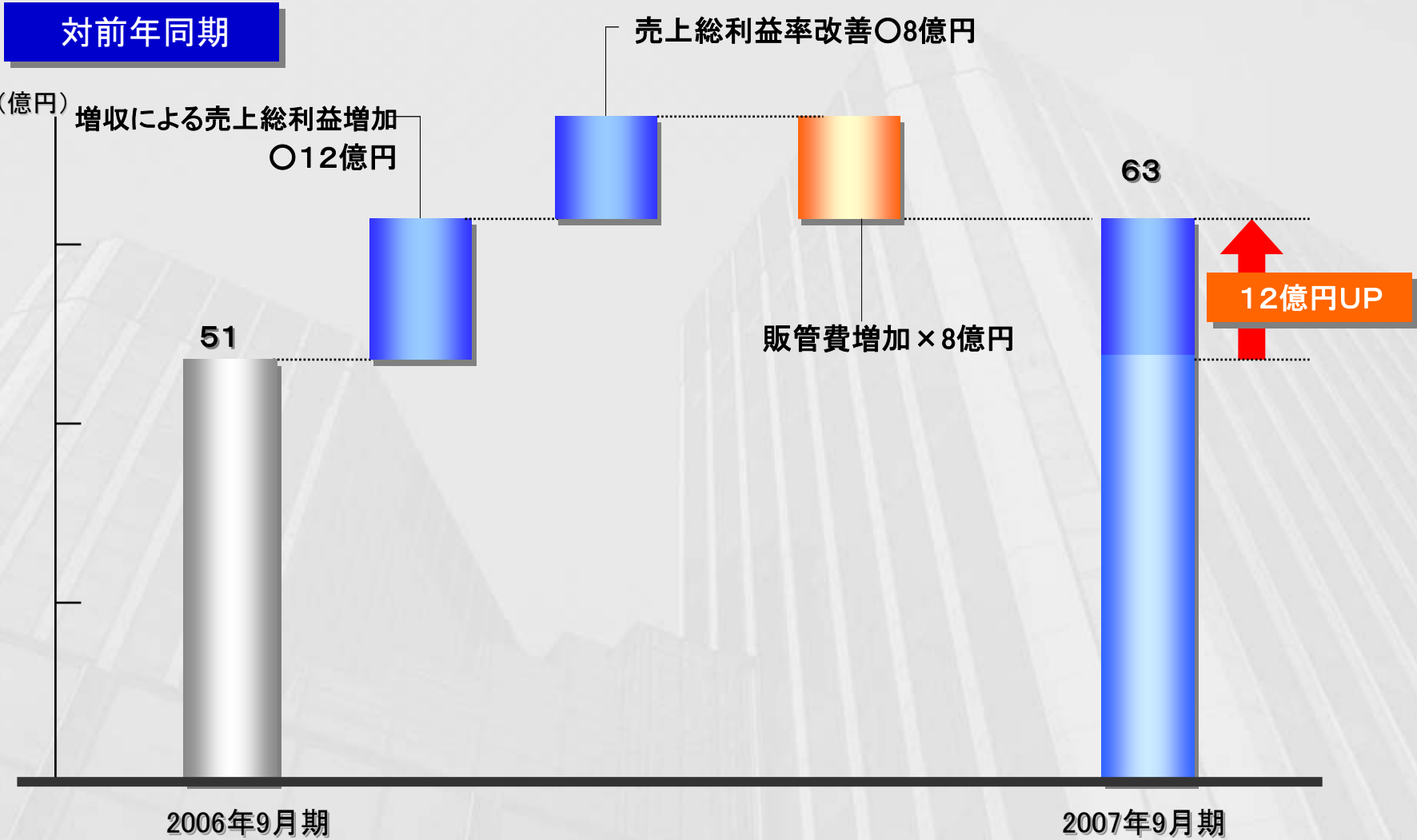
サービス・顧客業種別の売上高 (2007/09期実績)









NS Solutions

(億円)

サービス/業種	2006/9期 (実績) A	2007/9期 (実績) B	対前年同期 差異 B-A	コメント
業務ソリューション	330	379	+ 49	
産業・流通・サービス	159	179	+ 20	大手製造業向けで拡大
金融	102	137	+ 35	メガバンク・ゆうちょ銀行向けで拡大
社会公共他	69	63	- 6	
基盤ソリューション	112	91	- 21	プロダクト販売で減収
ビジネスサービス	184	209	+ 25	鉄鋼関連向け・一般市場向けともに拡大
単独計	626	679	+ 53	
子会社等	75	81	+ 6	
合計	701	760	+ 59	



サービス・顧客業種別の市場認識

サービス・顧客業種	市場認識	市場動向
業務ソリューション 産業・流通・サービス 金融 公共	<ul style="list-style-type: none">・大手製造業は高位安定的にIT投資を継続・流通・サービス業は競争力強化に向け積極的な投資姿勢・メガバンク・ゆうちょ銀行等においてIT投資が活発に推移・政府の調達制度改革・分割発注等による参入機会の増大	  
基盤ソリューション	<ul style="list-style-type: none">・ITインフラへの投資は堅調に推移・エンジニアリング需要は旺盛	エンジニアリング  プロダクト 
ビジネスサービス	<ul style="list-style-type: none">・データセンターへの引き合いは活発に推移・鉄鋼関連のIT投資が拡大	

2008年3月期 連結業績見通し

(億円)

	2007/3期 (実績) A	2008/3期 (見通し) B	2008/3期 (前回公表値)	対前年 差異 B-A
売上高	1,565	1,670	1,650	+ 105
業務ソリューション	926	1,010	970	+ 84
基盤ソリューション	245	230	260	- 15
ビジネスサービス	394	430	420	+ 36
売上総利益	333	357	347	+ 24
<売上総利益率>	<21.3%>	<21.4%>	<21.0%>	<+ 0.1%>
販管費	-192	-205	-200	- 13
営業利益	141	152	147	+ 11
経常利益	144	155	150	+ 11
当期純利益	81	87	83	+ 6

サービス・顧客業種別の売上高（2008/03期見通し）

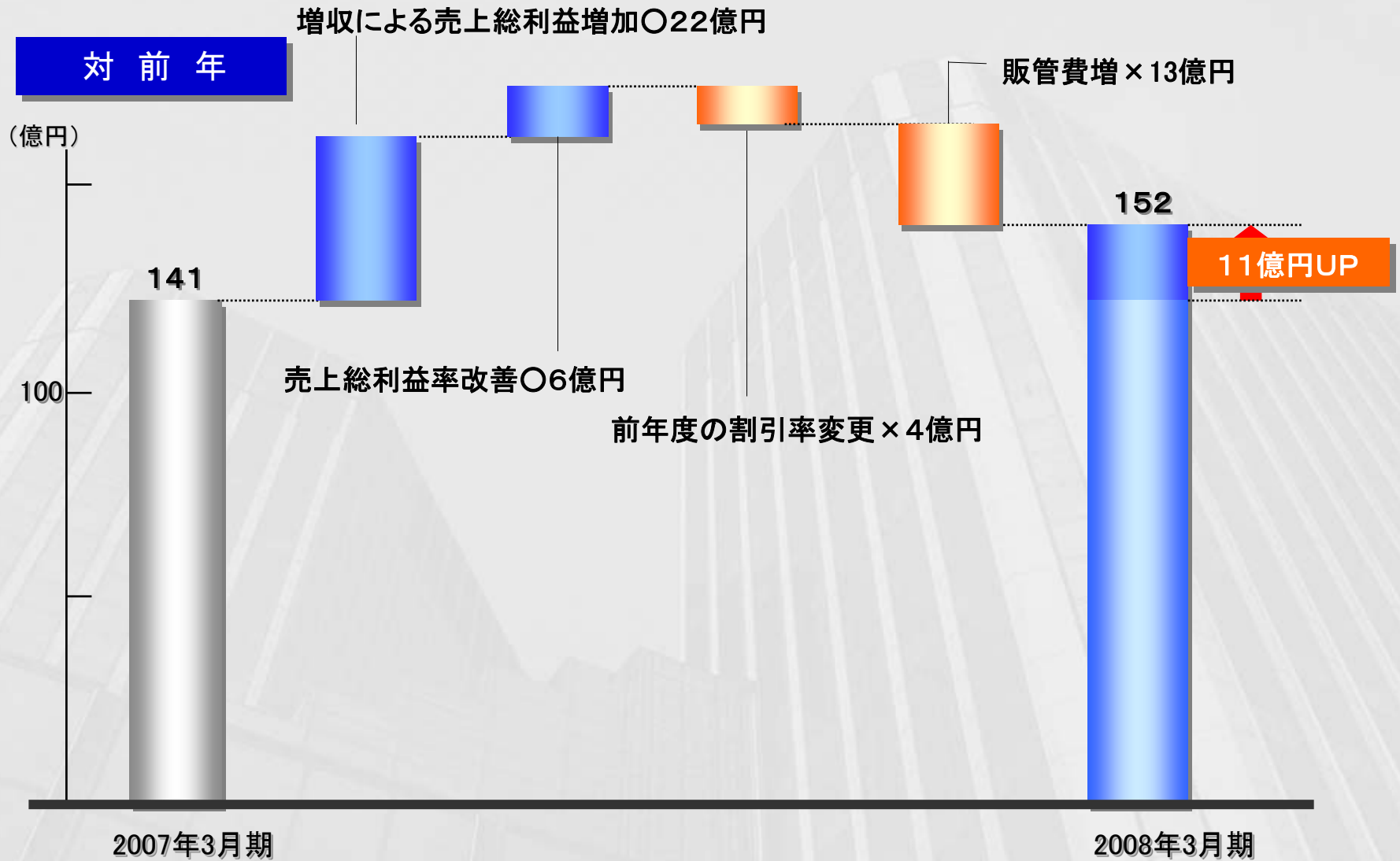


NS Solutions

（億円）

サービス/業種	2007/3期 （実績） A	2008/3期 （見通し） B	2008/3期 （前回公表値）	対前年 差異 B-A	コメント
業務ソリューション	786	855	820	+ 69	
産業・流通・サービス	361	390	390	+ 29	製造業向けを中心に拡大
金融	249	275	260	+ 26	メガバンク等で拡大
社会公共他	176	190	170	+ 14	中央省庁向け拡大
基盤ソリューション	222	215	240	- 7	プロダクト販売減
ビジネスサービス	390	425	410	+ 35	鉄鋼関連・一般市場とも拡大
単独計	1,398	1,495	1,470	+ 97	
子会社等	167	175	180	+ 8	
合計	1,565	1,670	1,650	+ 105	

2008年3月期 連結営業利益分析



2008年3月期 上下別連結業績見通し



NS Solutions

(億円)

	2007/3期(実績)		2008/3期(見通し)		対前年差異	
	上期 A	下期 B	上期 C	下期 D	上期 C-A	下期 D-B
売上高	701	864	760	910	+ 59	+ 46
業務ソリューション	394	532	447	563	+ 53	+ 31
基盤ソリューション	121	124	102	128	- 19	+ 4
ビジネスサービス	186	208	211	219	+ 25	+ 11
売上総利益	145	188	165	192	+ 20	+ 4
<売上総利益率>	<20.8%>	<21.8%>	<21.8%>	<21.1%>	<+ 1.0%>	<- 0.7%>
販管費	-94	-98	-102	-103	- 8	- 5
営業利益	51	90	63	89	+ 12	- 1
経常利益	52	92	65	90	+ 13	- 2
当期純利益	30	51	35	52	+ 5	+ 1
期首受注残高	380	479	440	546	+ 60	+ 67

これまでは成長戦略を支える「仕組み」を整備

①事業推進体制の整備

- 「選択と集中」と収益責任を持つ製販一体型ビジネスユニットによる事業遂行
- システム・ライフサイクル・トータルソリューション
(アプリケーション開発、ITインフラ、運用の一括提供)によるビジネスユニット間連携
- プロジェクト方針会議等によるコーポレートレベルでのリスク管理

②標準化の推進

- システム開発・保守・運用の標準化(システムライフサイクル標準)
- 営業プロセスの標準化
- 戦力把握(ITスキル標準、外部人材データベース)
- 業務プロセスの標準化



ベストプラクティスの明文化・システム化と教育等による全社への普及・実践

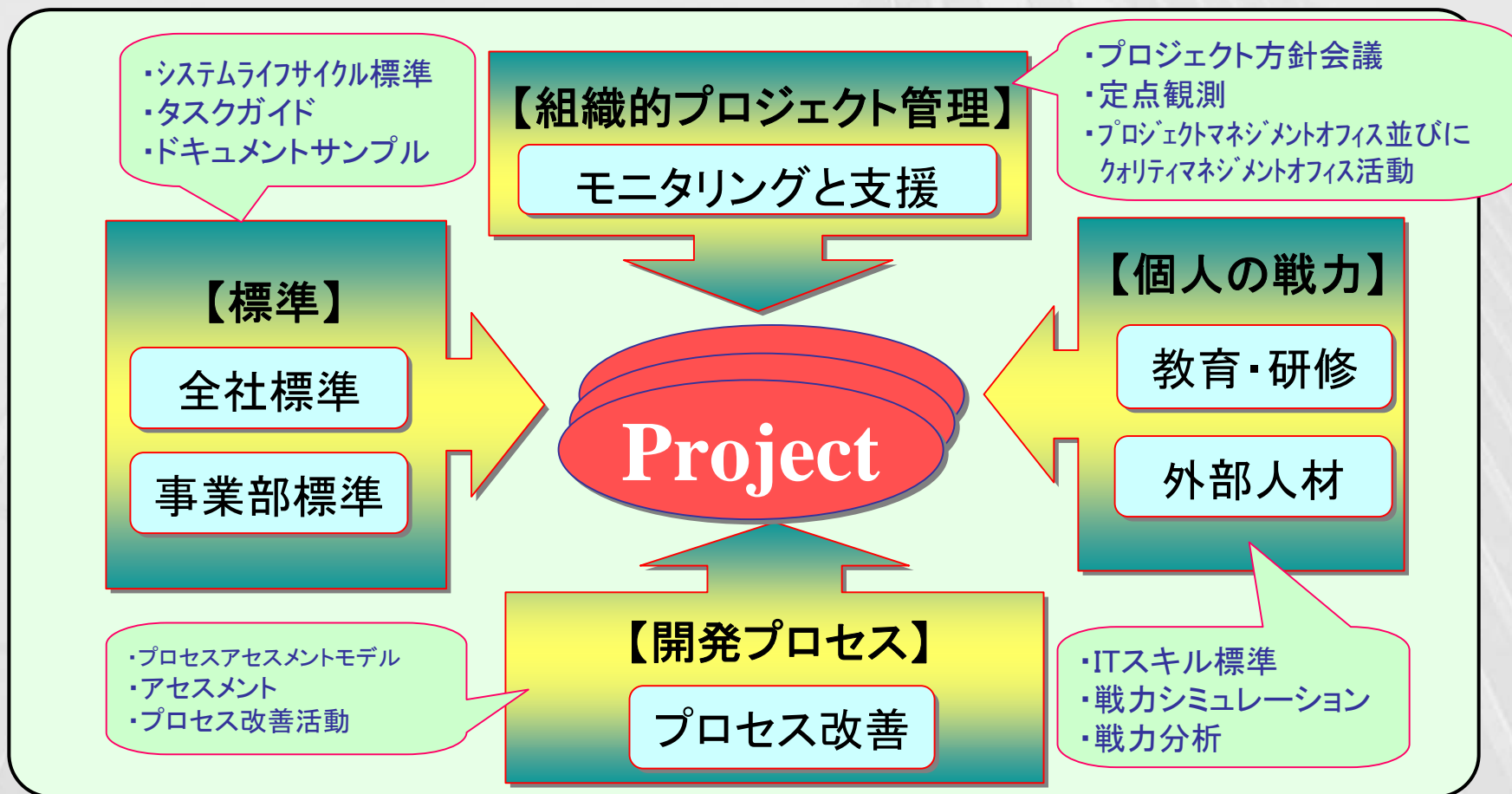
持続的成長軌道の確立と更なる成長の加速へ

1. システム構築実力の向上
2. ソリューション・先進技術開発力の強化
3. 人材開発の拡充

システム構築実力の向上-1

(1)組織的システム開発技術力の継続的強化

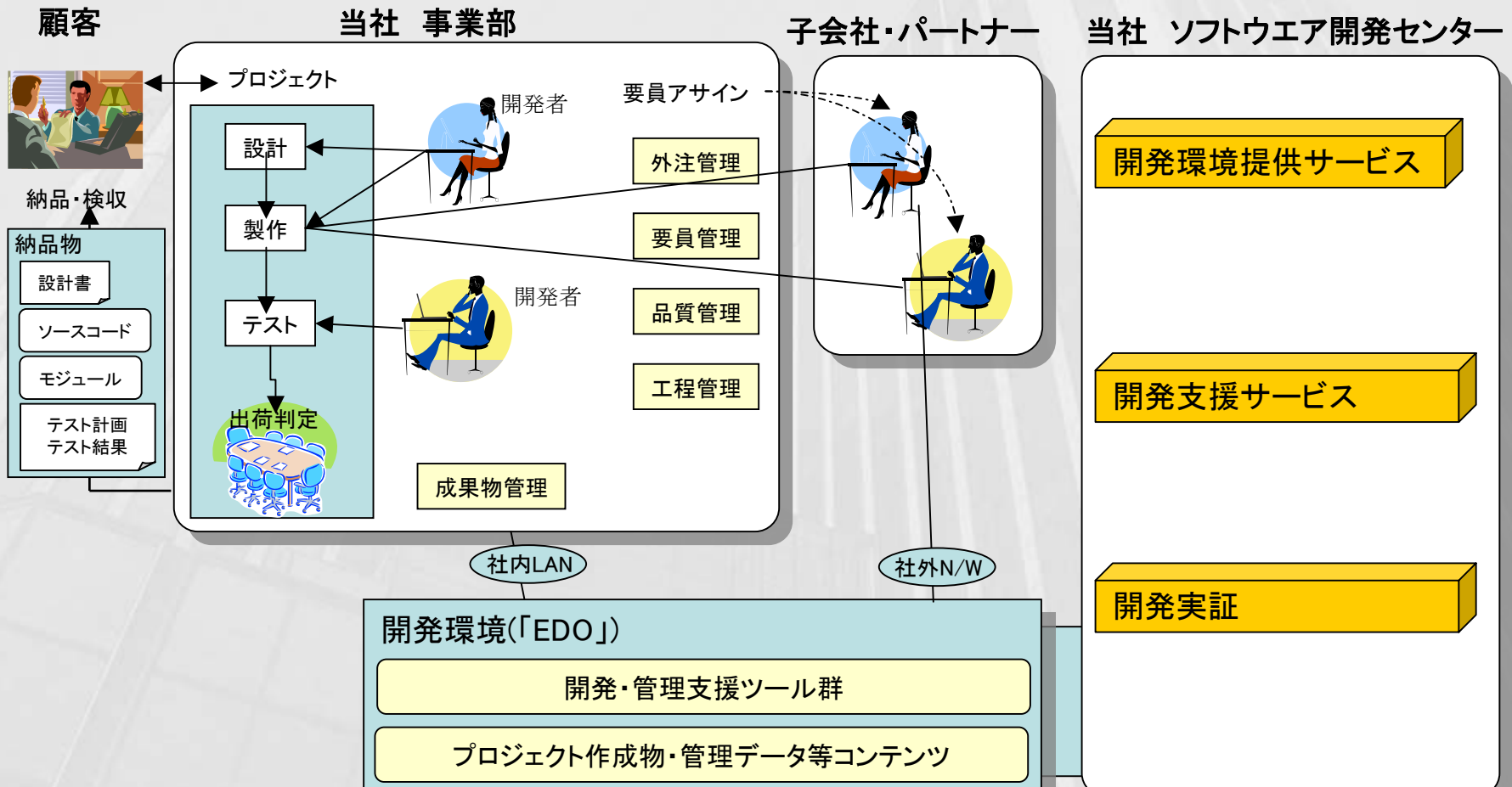
全社技術標準(NSSOL システムライフサイクル標準:約40年に亘り蓄積した
ベストプラクティスの集大成)に基づく安定的、効率的、高品質なシステム構築の実現



システム構築実力の向上-2

(2)ソフトウェア開発センターの設立準備

開発環境提供、開発支援の各サービス提供並びに開発実証を行うマザープラント設立準備

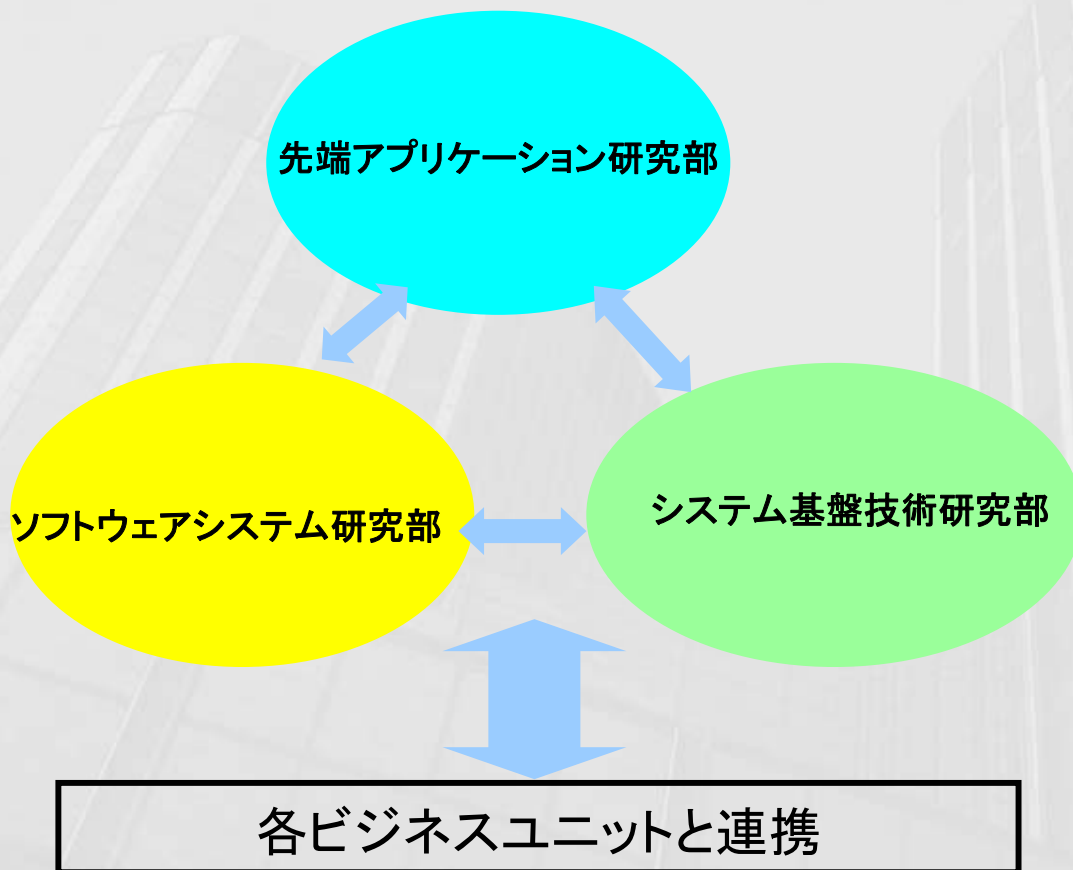


ソリューション・先進技術開発力の強化-1

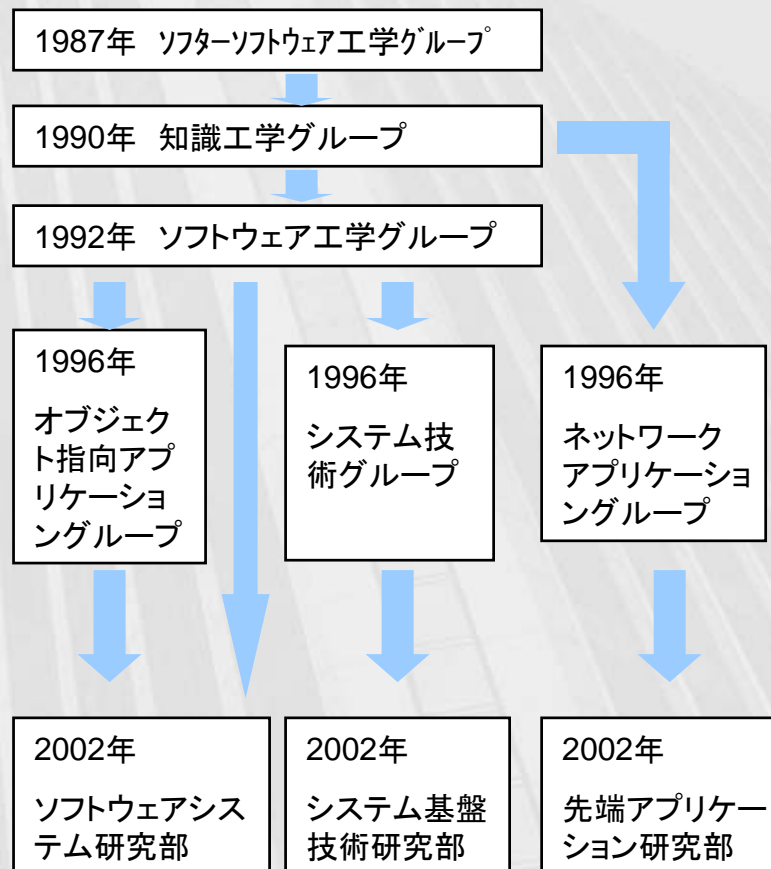
(1)システム研究開発センターの充実

20年の蓄積と約100人の研究陣による先進的システム構築技術力の強化

●各研究部の研究領域とシナジー効果



●研究開発対象の変遷



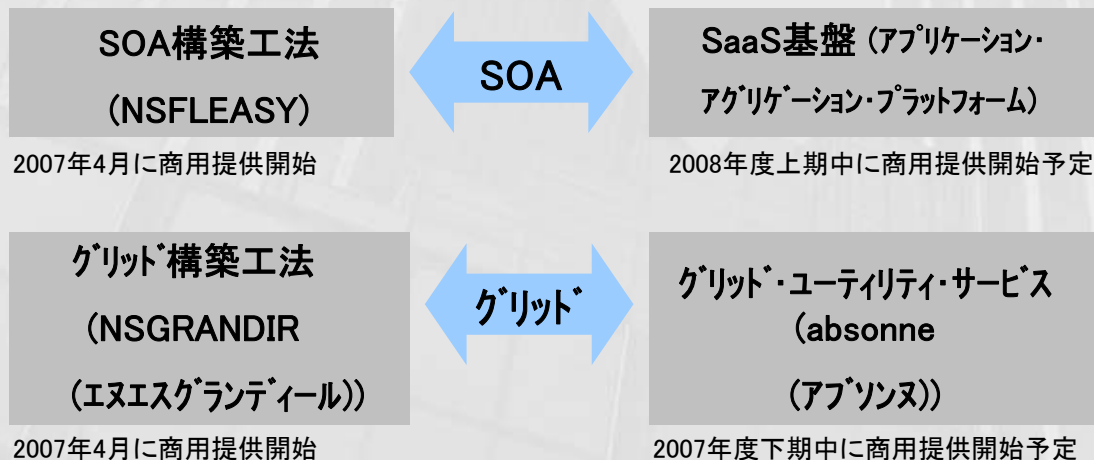
(2) SOA 及びグリッド・ユーティリティ・コンピューティング ※1

サービス化の本格展開へ向け、SOA構築工法(NSFLEASY ※2)、グリッド構築工法(NSGRANDIR ※3)、SaaS基盤(アプリケーション・アグリゲーション・プラットフォーム)、グリッド・ユーティリティのサービス提供(absonne ※4)、の商用提供開始

●NS Solutions Grid & Utility Computing Center

- 能力: 223ノード、446CPU
- マルチベンダー対応
- 分散環境(システム研究開発センターとデータセンター)

●工法とサービス提供



●グリッド・コンピューティングの実装例

- 新日本製鐵 大分製鐵所 様
- 東京大学 素粒子物理国際研究センター 様
- 楽天トラベル 様
- 大手金融機関、製造業向け等

※1 SOA: Service Oriented Architecture

※2 NSFLEASY: NS Solutions Federation of Loosely coupled Entity group by Application Synchronization

※3 NSGRANDIR: NS Solutions Grid And Dynamic Infrastructure

※4 absonne : advanced business space on network

ソリューション・先進技術開発力の強化-3

(3) BI(Business Intelligence)ソリューション

経営マネージメント、知的活動の面で企業の基幹業務を支える情報活用インフラ

大規模SIニーズ

ROI重視のニーズ

BI分析ソリューション

業務ソリューション事業部

コンサルティング部門

分析ノウハウ

業種・業務もしくは顧客文化に特化した分析要件

BIテクノロジーソリューション

インフラソリューション部門

システム研究開発センター

アーキテクチャ設計

大規模DB構築・運用
拡張性・柔軟性のあるアーキテクチャ
統計解析技術

情報収集

情報蓄積

情報活用

SI実績を
メニュー化



ノウハウ

BIサービスソリューション

ITサービス部門

分析サービス

定型メニューによる分析サービス
非定型な代行分析サービス

検証成果

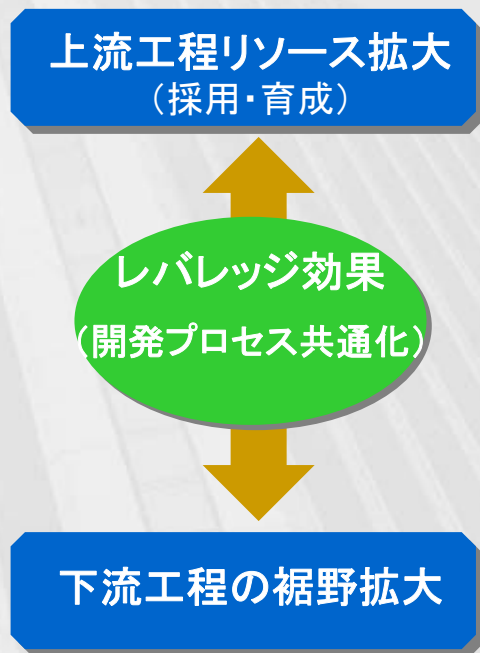
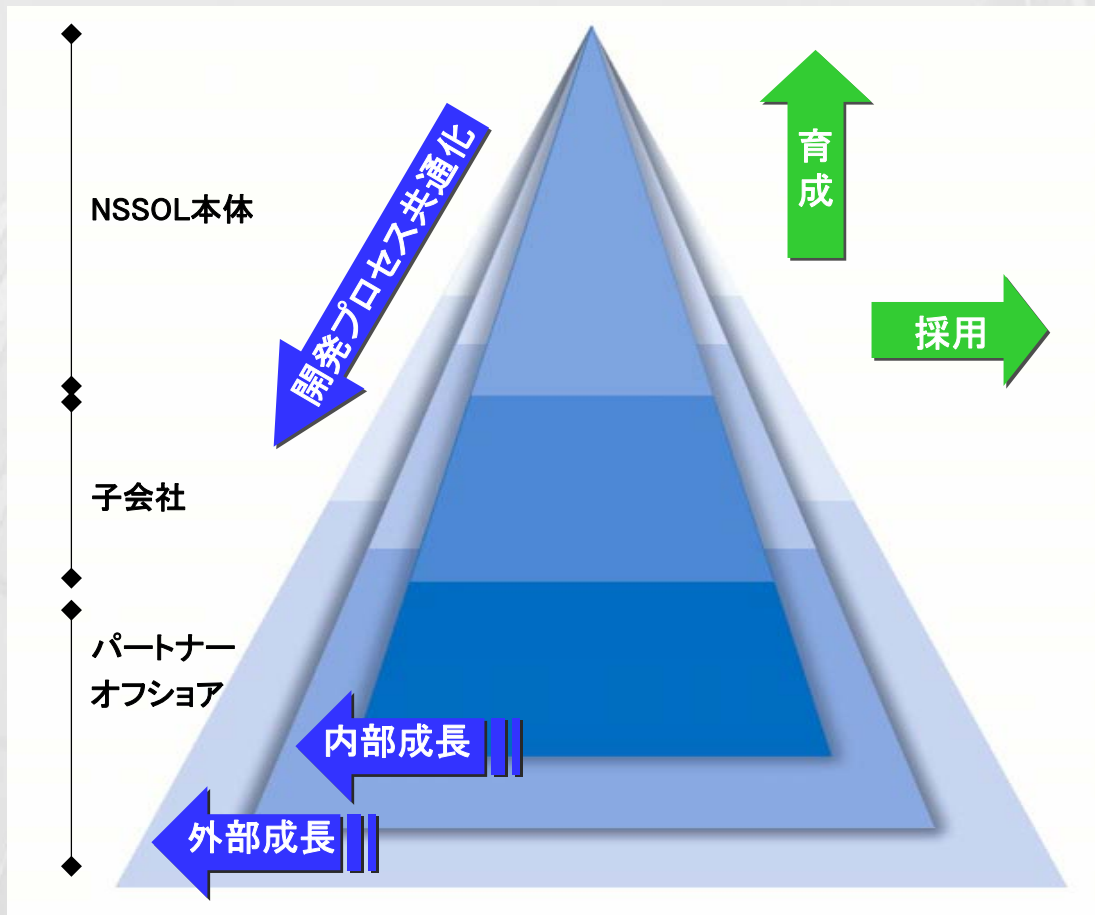
NS Solutions & Oracle Business Intelligence Solution Center (2007年8月に設立)

日本オラクル株式会社と共同設立、日本アイ・ビー・エム株式会社の協力

実証検証

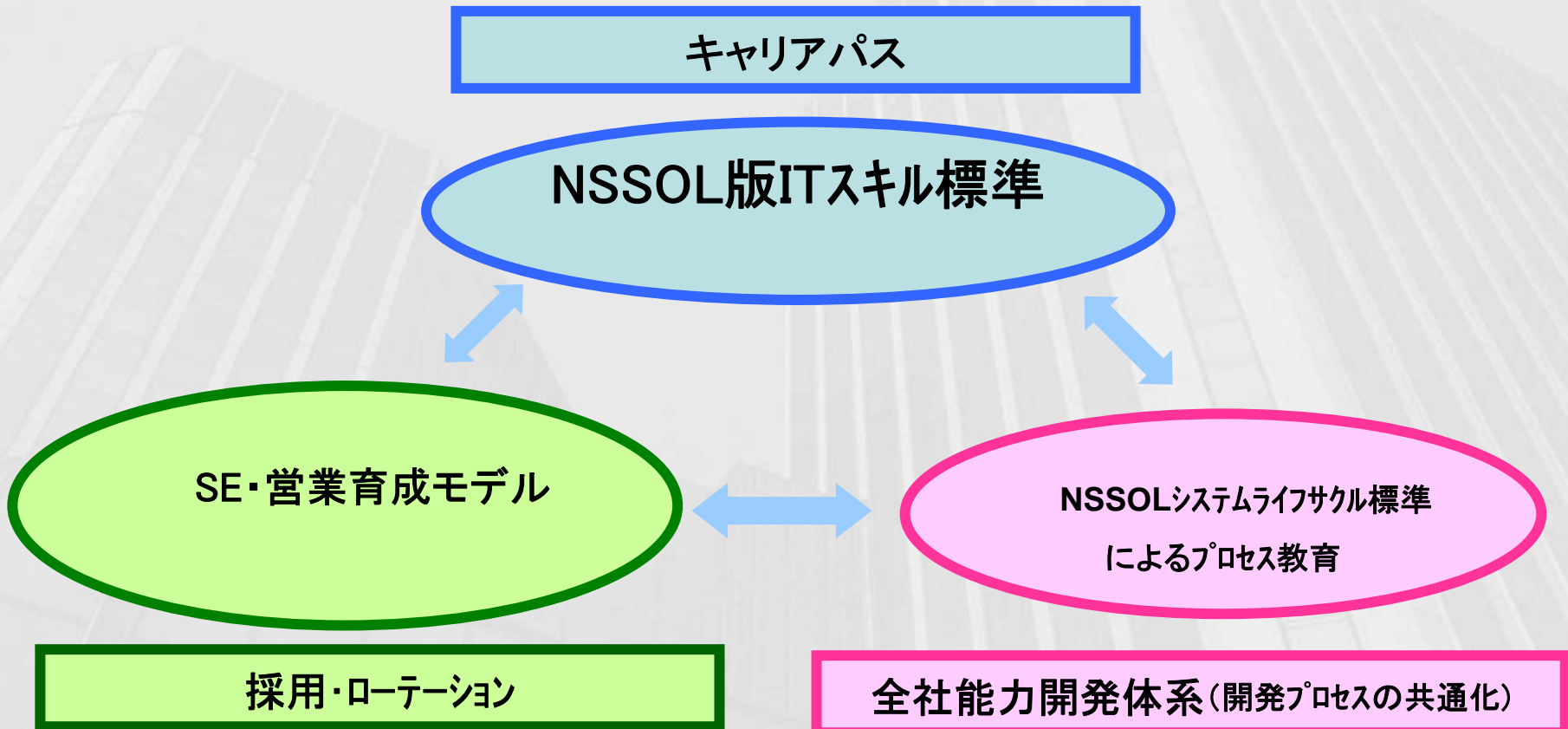
(1) レバレッジによる成長モデル

本体直営社員、子会社・パートナー・オフショア間のレバレッジ効果による全体戦力強化と内部成長の確実な実現



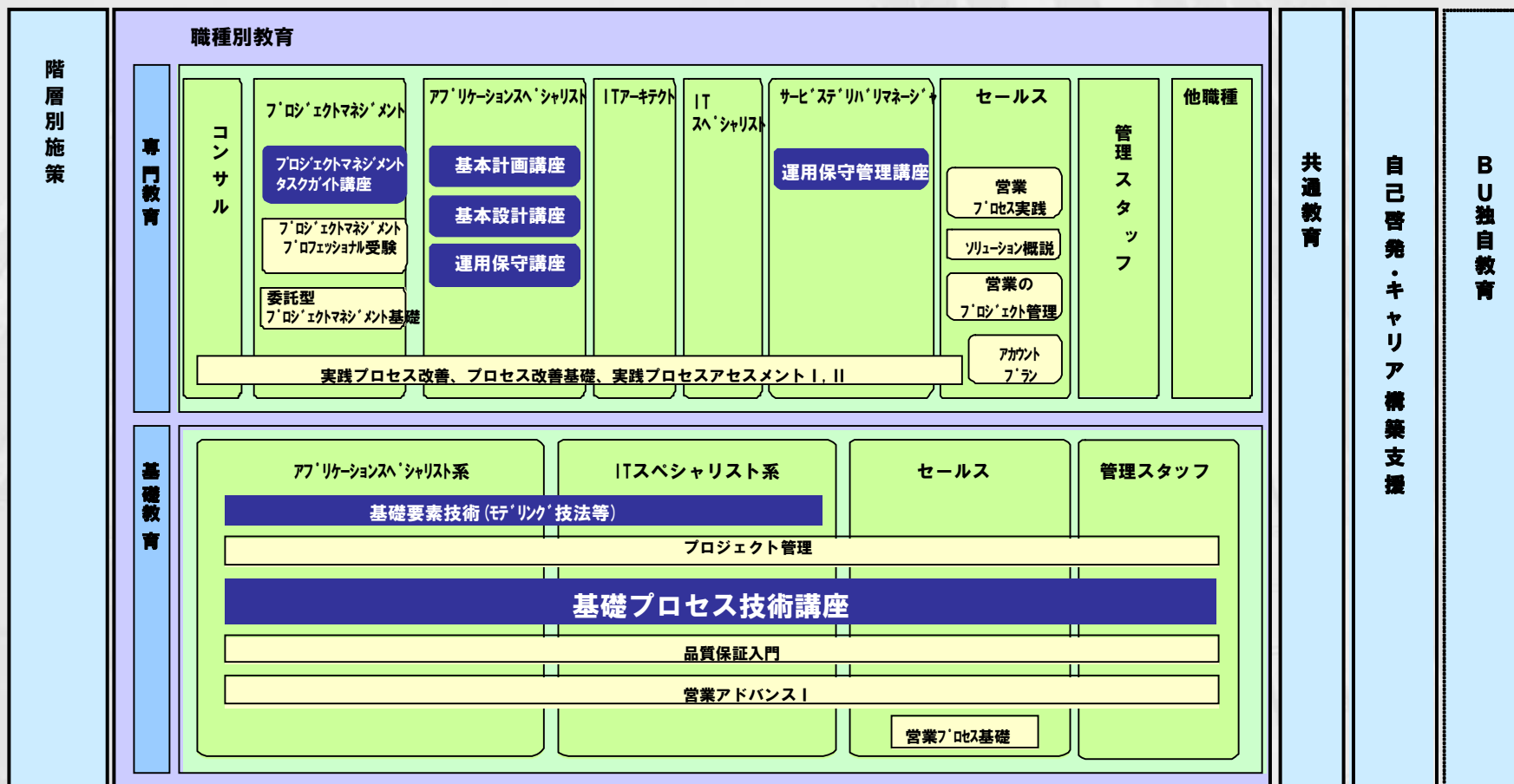
(2)人材開発イニシアティブ

NSSOL版ITスキル標準+SE・営業育成モデル+NSSOLシステムライフサイクル標準によるプロセス教育の三位一体による人材開発促進



(3)技術標準に基づくプロセス教育の充実

- 当社独自のシステムライフサイクル標準とタスクガイドを能力開発プログラムに初適用
- 基礎教育からプロマネ教育まで高品質・高効率のプロセス教育体系充実



- 金融機関向けコンサルティング専門会社を設立
(NSフィナンシャルマネジメントコンサルティング株式会社)
- 当社が開発したソフトウェアプロセス・アセスメントモデル
「SPEAK」をベースにした「SPEAK IPA版」を
情報処理推進機構(IPA)が公開 ※

※SPEAK: Software Process Evaluation and Assessment Kit

本資料には当社又は当社役員の当社の営業成績及び財政状態に関する意図、意見又は現時点の予想と関連する将来予想が記載されております。従って、この将来予想は、歴史的事実でも将来の業績を保証するものでもないため、リスクと不確定な要素を含んでおります。実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。当社は、この将来予想を、これらの変化要因を反映するために修正することを保証するものではありません。



<http://www.ns-sol.co.jp/>

NS Solutions、NSロゴ、NSFLEASY、NSGRANDIR、absonneは、新日鉄ソリューションズ株式会社の商標又は登録商標です。
その他、資料中に記載の会社名・製品名は、それぞれ各社の商標又は登録商標です。